

三宅島の現状（その50）

平成15年3月10日

現地災害対策本部(三宅島)

【気象及び火山活動状況】 2月26日～3月10日

この期間中、3月1日と7日は発達した低気圧の影響で雨となり、日降水量は1日神着42.0mm・阿古30.5mm・坪田42.0mm・伊豆36.5mm、7日神着71.0mm・阿古67.5mm・坪田63.5mm・伊豆85.0mmを観測しました。低気圧の通過後は冬型の気圧配置となりましたが、伊豆諸島付近にできた局地的な前線の影響で雲が多く、弱い雨の降る日が多くありました。

火山の活動状況は、この期間体に感じる地震は観測されず、噴煙の高さは、9日には火口上700mの白色の噴煙が上がっているのが観測されました。火山ガス（SO₂）の放出量調査は4日に東京消防庁の協力により実施し、約4,000～7,000トン/日を観測しました。

島内のガス濃度（SO₂）は、2日三宅島空港で4.1ppm、3日逢の浜3.2ppm、村役場3.1ppm、三宅島空港2.9ppmを観測しました（東京都環境局観測）。

【天候の影響】

この時節は天候や風向きが変わりやすく、定期船の接岸も不安定で、3月8日の夜竹芝を出発した臨時便は、上りも下りも着岸できず三宅島を通過していきました。

3月1日と7日には強い風雨がありましたが、幸い大きな被害はみられませんでしたが、しかしながら一部の復旧工事現場では、掘削の終わった箇所に土砂が流れ込むなど、手戻りが発生しました。

暖かくなるにつれ、雨の日には、カエルが大量に発生します。三宅支庁や勤労福祉会館でもカエルの大合唱が聞かれるようになりました。

【避難施設工事の進捗】

4月から島民のショートステイが始められるように、厳しい作業工程の中、避難施設の建設工事が急ピッチで進められています。外観はほぼ完成し、現在では、室内で行われる内装や設備工事が作業の中心となっています。三宅島民の1日も早い短期滞在要望に応えるため、島内外から100名近い作業員が参加しています。

【定期船による日帰り帰宅事業の実施及び参加者数】

この期間に予定されていた日帰り帰宅事業は、海上不良が続いたため、伊豆・伊ヶ谷地区の1回しか実施できませんでした。

年月日	H15. 2. 27	H15. 3. 1	H15. 3. 6	H15. 3. 8
場 所	阿古地区	坪田地区	伊豆・伊ヶ谷地区	神着地区
人 数	三宅で下船出来ず	条件付により中止	52名	欠航のため中止

※ 人数には、防災関係者は含んでいません。

【就労情報】

村役場では求人情報を下記のホームページに掲載するとともに、住民情報ネットワーク（島民連絡会）42ヶ所の連絡所にも送付しております。仕事を探している方はもよりの連絡所でご覧下さい。また、就職についての相談は三宅村村民課避難対策係（代表03-5321-1111内線45-651）にご連絡ください。なお、直近の情報はホームページ「三宅島を離れた村民のみなさまへ」（<http://www.miyakemura.com>）をご覧ください。

（問い合わせ先）三宅支庁総務課行政係 電話：03-5320-7854

平成15年3月14日

三宅村住民各位

東京都三宅島三宅村長
長谷川 鴻

新規村営住宅の入居希望等に関する調査について

現在、三宅村では泥流等家屋被害により住宅再建の困難な住民を対象に、村営住宅の建設計画を進めております。つきましては、村営住宅の建設戸数を確定するために村営住宅の入居希望等について調査を実施し、今後の新規村営住宅の建設や既存村営住宅の改修等の規模を確定していきたいと考えておりますので、村営住宅の入居希望等に関する調査のご協力をお願いいたします。なお、既存村営住宅につきましては、三宅村が改修いたします。

本調査については下記のとおり行いますので入居を希望されている方のみ回答をお願いいたします。なお、村営住宅に入居するための条件は三宅村営住宅使用条例に定める規定によります(家屋被害により村営住宅を希望されても所得条件等により村営住宅に入居できない場合もあります)。また、災害による家屋修繕等の為の一時的な村営住宅の入居はできませんのでご了承をお願いいたします。

記

- 1 調査件名 村営住宅の入居希望等に関する調査 (別紙)
- 2 調査対象 村営住宅に入居を希望している方
- 3 回答方法 選択方式 (一部記述)
なお、調査条件は、帰島時全島の居住区域において、火山ガス及び泥流等の被害がなく、全員がどこの地区でも安全に生活できるという条件で回答をお願いいたします。
- 4 調査票締切日 平成15年3月31日 (月) 必着
- 5 調査票回収方法 郵送またはファックスで受付いたします
郵送 〒163-8001
東京都新宿区西新宿 2-8-1 一本庁舎 29階中央
三宅村新宿総合事務所 施設整備担当課 住宅係まで
ファックス番号 03-5388-1602
- 6 その他 調査票についてわからないこと、質問等がありましたら下記までご連絡を下さい
施設整備担当課住宅係 直通 03-5320-7844

村営住宅の入居希望等に関する調査について

回答方法については、該当する項目の右の□にチェックをお願いいたします。
(複数回答可) とあるところは複数があれば回答をお願いいたします。

問1 三宅島での住居についてお聞きします。

- イ) 自己所有 □
- ロ) 借家 □
- ハ) 村営住宅 □
- ニ) 社宅(公務員住宅を含む) □
- ホ) その他() □

問2 問1での回答で、住居の被害状況はどうでしたか(複数回答可)。

- イ) 泥流等の被害 □
- ロ) 屋根の腐食等の被害 □
- ハ) 白蟻等の被害 □
- ニ) 小動物等の被害 □
- ホ) その他の被害() □
- へ) 特に目立った被害はない □

問3 問2でイ)～ホ)とお答えの方に聞きます。被害はどの程度でしたでしょうか。

- イ) 補修すれば住める □
- ロ) 補修だけではとても住めない □
- ハ) 補修する必要はない □
- ニ) その他() □

問4 島外避難前に住んでいた地区はどこでしたか。

- イ) 神着 □
- ロ) 伊豆 □
- ハ) 伊ヶ谷 □
- ニ) 阿古 □
- ホ) 坪田 □
- へ) 三池・沖ヶ平 □

問5 村営住宅入居の希望地区についてお聞きします。

- イ) 住んでいた同一地区内で入居したい
- ロ) 住んでいた別の地区でもいい

問6 村営住宅に入居を希望されている方は、三宅村営住宅使用条例に定める規定により入居できますが、差し支えなければ下記に世帯主のお名前と年齢、三宅島の住所の記載をお願いいたします。なお、申込みとは違いますのでご了承ください。

世帯主 _____ 年齢 _____ 歳
三宅島の住所 _____ 地区 _____ 番地 _____

問7 あなたの家族構成について、下記の表に記入して下さい。

氏名	フリガナ	続柄	年齢	性別

問8 希望する村営住宅の間取はどのタイプでしょうか。

- イ) 1DK (約35.90㎡ [10.85坪])
- ロ) 2DK (約53.36㎡ [16.14坪])
- ハ) 3DK (約66.53㎡ [20.12坪])

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

三宅島「げんき農場」で働いていただく方の募集

(三宅島特産農産物種苗等の栽培・保全事業)

都では、三宅島の特産農作物の種苗を確保し、帰島後速やかに営農が再開できるよう、八王子市に三宅島「げんき農場」を開設しています。

このたび、平成15年度に「げんき農場」で働いていただく方を、下記のとおり募集いたしますので、お知らせいたします。

記

1 応募資格

三宅島から避難されている島民の方で、農作業のできる方

2 募集期間

- ① 募集期間 平成15年3月17日(月)から同24日(月)まで
- ② 採用通知 3月下旬(採用・不採用にかかわらず郵便等により連絡)

3 勤務地

八王子市宇津木町236-1ほか(都立小宮公園北側)

なお、勤務にあたっては、最寄り駅(JR八王子駅、京王線京王八王子駅)近くの都立産業技術研究所八王子庁舎からシャトルバスにて送迎いたします。

4 勤務条件

- ① 勤務内容 島の特産農産物等の栽培・収穫(軽作業)
- ② 勤務期間 平成15年4月から平成15年9月末まで
(平成16年3月まで継続勤務可能)
- ③ 勤務日数 月12日程度
- ④ 賃金 6,280円/日・税込み(交通費は実費支給)
- ⑤ 募集人員 100名程度
- ⑥ その他 採用者の中から、ご本人の承諾のもとに、別途勤務条件(勤務日数:月20日程度、賃金:9,690円/日・税込み(交通費は実費支給))にて作業班長を10名程度選任いたします。

5 問い合わせ先

三宅村新宿総合事務所農林水産業整備担当課

電話 (代) 03-5321-1111 (内線) 45-650

(直) 03-5320-7828

(財)東京都農林水産振興財団

電話 (代) 042-528-0505

6 応募について

(1) 応募方法

官製はがきに、①現住所、②三宅村住所、③氏名、④年齢、⑤性別、⑥電話番号、⑦げんき農場での勤務経験の有無、を記入のうえ、下記住所に応募してください。(3月24日消印有効)

(2) あて先

〒190-0023 立川市柴崎町3-17-7

(財)東京都農林水産振興財団 げんき農場担当 久保田

三宅村「ゆめ農園」で働いていただく方の募集

村民の皆様に、江東区夢の島で三宅島特有の花弁・緑化苗木、観葉植物等の苗を生産し、帰島後の復興の一助とするため、三宅村「ゆめ農園」で働く方を下記のとおり募集いたします。

記

1 【応募資格】

現在東京23区内に避難されている三宅島民の方で、勤務地まで通勤可能で農園作業のできる健康な方。

2 【募集期間等】

①募集期間：平成15年3月17日(火)から同24(月)まで(当日消印有効)

②採用通知：3月下旬(採用・不採用にかかわらず郵便等により連絡)

3 【勤務地】

江東区夢の島3番地30(旧江東清掃工場敷地内)外

*最寄駅：地下鉄有楽町線・JR京葉線・りんかい線「新木場駅」より徒歩15分

4 【勤務条件】

①勤務内容：花卉・緑化木、観葉植物等の苗の栽培(軽作業)

②勤務期間：平成15年4月1日から同年9月30日まで
(平成16年3月まで継続勤務可能)

③勤務日数：月に12日程度(午前9時から午後5時まで)

④賃金：6,280円/日・税込み(交通費は実費支給)

⑤募集人員：50名程度(応募者多数の場合は抽選といたします。)

⑥その他：採用者の中から、ご本人の承諾のもとに、別途勤務条件(勤務日数：月20日程度、賃金：9,690円/日・税込み(交通費は実費支給))にて作業班長を4名程度選任いたします。

5 【問い合わせ先】

三宅村新宿総合事務所 03-5321-1111(代表)

・農林水産業整備担当課(直通)03-5320-7828(内線)45-650・45-651

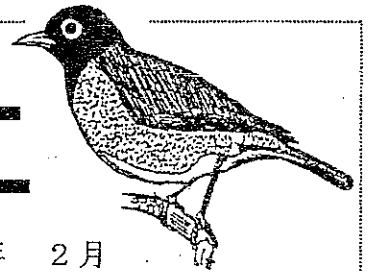
・村民課(直通)03-5320-7829(内線)45-660・45-661

6 【応募方法】

必ず官製はがきで①現住所、②三宅島住所、③氏名、④年齢、⑤性別、⑥電話番号を記入のうえ、下記住所に応募してください。

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 三宅村新宿総合事務所内
三宅村森林組合「ゆめ農園」係

あかこっこ



No. 91 2003年 2月

三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館行事のご案内

次年度、都内でのアカコッコ館の行事は次のとおりです。6月から10月まで毎月第1土曜日に日本野鳥の会の事務所で開催します。

■「アカコッコ館自然講座」

三宅島の自然の特徴や魅力についてテーマごとに学んでいく講座です。
※参加費無料。資料はこちらで準備します。

開催日時	行事名	内容	予約/定員
2003年6月7日(土) 14:00-16:00	アカコッコ館自然講座①-野鳥-	三宅島の野鳥の固有性、魅力について	予約不要/定員なし
2003年7月5日(土) 14:00-16:00	アカコッコ館自然講座②-海の生き物-	三宅島の森林の遷移、貴重な植物について	//
2003年8月2日(土) 14:00-16:00	アカコッコ館自然講座③-森林-	三宅島の海の生き物とその魅力について	//
2003年9月6日(土) 14:00-16:00	アカコッコ館自然講座④-火山-	三宅島の噴火の歴史と2000年噴火について	//
2003年10月4日(土) 14:00-16:00	アカコッコ館自然講座⑤-エコツアー-	三宅島の将来とエコツアーについて	//

★ 次回の発行は2003年6月の予定です ★

□問合せ先：三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館/担当 山本
財団法人日本野鳥の会サンクチュアリ室内
〒151-0061渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1F
TEL 03-5358-3517 FAX 03-5358-3608

□会場：(財)日本野鳥の会会議室

□会場までの交通：京王新線「初台」駅下車 中央口より徒歩2分。

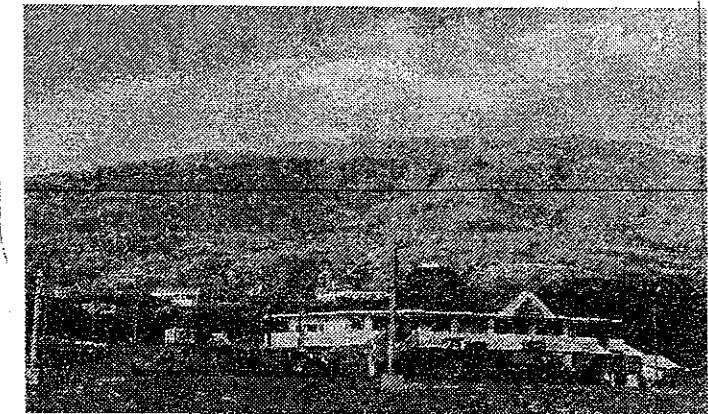
三宅島の自然は今！？

2000年6月26日に始まった三宅島・雄山の火山活動は、全体的には低下傾向にあります。火口からの火山ガス量は、最も多かった2000年9月から10月にかけては1日あたり2～5万トンもの量が放出されていましたが、最近では1万トンを超えることは少なくなってきています。

噴火開始から約2年7ヶ月を経過した今、火山ガスなどによって野鳥などの陸上の生き物にどのような影響が出ているのかをアカコッコ館で1月21日から25日にかけて調べました。今号では、その結果をお知らせします。

◇◇◇ガスによる植生への影響◇◇◇

火口からのガスによる植生への影響は、季節風の影響を受けやすい島の東部と南西部を中心に出ています。特に東部では、本来一年中緑に被われているはずのタブノキやヤブツバキの林で、落葉や枯死が起きています。南側や北側に向かうにつれて緑が回復しています。



<三池港から山頂にかけての様子>

◇◇◇大路池周辺の様子◇◇◇

アカコッコ館のある大路池周辺は火山ガスによる影響があまりなく、特に、池の周囲の林はほとんど影響を受けていません。ただ、昨冬に比べると尾根筋の植物の葉は落ち、大路池入口付近のスダジイ林も茶褐色に変色していました。昨年

11月から12月にかけての時期に変色したと言われており、完全に枯れているのかどうかは、春に芽吹くかどうかを確認する必要があります。大路池には例年オシドリが数十羽訪れますが、この冬はオシドリの姿はなく、オオバンやヨシガモ、ヒドリガモが訪れていました。

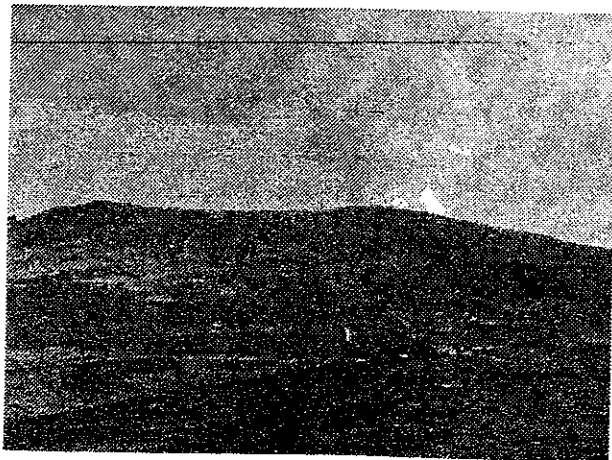


<大路池>

◇◇◇雄山中腹の様子◇◇◇

雄山中腹(標高約400m付近)の村営牧場より上では2000年夏の噴火の最初の頃に、火口から噴出した火山灰や噴石によって森林などへの被害が出ています。火山灰はまだかなり堆積し、噴石や倒木などがそのままになっています。環状林道周辺では、コゲラ、シジュウカラ、ホオジロを観察したのみに留まりました。

雄山中腹から麓に向かうとわずかずつつですが、緑が回復してきます。ちらほらとまばらに見えるのはハチジョウイボタやヤブツバキなどの植物で比較的ガスに強いと考えられます。ヤブツバキは花が咲き、メジロやヒヨドリが来ていました。



<七島展望台から見た山頂付近と立ち上る噴煙>



<「阿古林道」付近で咲いていたヤブツバキ>

<確認された鳥類>

滞在中に次の41種類の野鳥が観察されました。

カイツブリ	オオバン	ヒヨドリ	ヤマガラ
ウミウ	イソシギ	モズ	シジュウカラ
ヒメウ	オオセグロカモメ	ミソサザイ	メジロ
ヨシガモ	ウミネコ	ルリビタキ	ホオジロ
ヒドリガモ	カラスバト	ジョウビタキ	アオジ
ミサゴ	キジバト	イソヒヨドリ	アトリ
トビ	コゲラ	アカコッコ	カワラヒワ
ハイタカ	キセキレイ	シロハラ	マヒワ
ノスリ	ハクセキレイ	ツグミ	スズメ
ハヤブサ	セグロセキレイ	ウグイス	ハシブトガラス
コジュケイ			

アカコッコやカラスバト、オーストンヤマガラなど、島の鳥たちも頑張っていますよ。

☆☆☆☆☆トピックス☆☆☆☆☆

○「アカコッコ館自然だより」をご覧ください！

三宅村のホームページ「村民の広場」において、島の自然や島の生き物を紹介しています。扱うテーマは月1回更新で、これまでに10回分が掲載されています。ホームページのアドレスは次のとおりです。ぜひご覧ください。

http://www.miyakejima.gr.jp/info_miyake/info_akakokkoku_top.htm

平成15年 3月10日発行

シルバーみやげ ミニ・ニュース



編集・発行
 社団法人三宅村シルバー人材センター
 東京都千代田区飯田橋3-10-3
 シニアワーク東京 2階
 Tel; 03-3239-4343
 Fax; 03-3512-3477

つなげていこう 「楽しい仲間で、よい仕事」

14年度も残すところあと十数日、4月からは東京で就業をはじめて3度目の新しい年度を迎えます。三宅村は、13年度から緊急雇用対策事業を実施し、特に高齢者の就労対策として「公立公園清掃事業」を当センターに委託するなど、島民の健康維持と生活支援を重要な施策として位置づけています。新年度も「安全就業」を心がけて、みんな元気にふるさとの土を踏もうではありませんか。

ようやく春がめぐってきました。

柳の枝には小さな緑が芽吹きはじめ、公園の桜のつぼみも日一日とふくらみを増して、春の主役を演じるその時をじっと待っている風情に、心もなごみます。

夏はじりじり照りつける炎天の下、冬は吹きすさぶ北風と凍てつく都会の寒さを乗り越えてきた会員の皆さんに『本当にご苦労さま』を申し上げたいと思います。さて、この1年総勢240人の会員が就業してきましたが、このうち約70人が「げんき農場」と「ゆめ農園」でお世話になり、当センターの受託事業（公立公園清掃事業等）で100人、特別会員等の就業が約

70人(右表参照)と会員の約60パーセントが就業したことになります。就業していない会員のほとんどが高齢であること、家庭の事情や健康上の理由等で就業の意志がなかったものと推測されます。したがって、就業意欲のある会員の需要はほぼ満たしているものと思われま。三宅村では、15年度事業の実施に向けて関係各機関と協議を重

ねているところですが、協議が整えば前年度並の就業機会の確保が可能となります。したがって、当センターの受託事業（約100人）については、今月中旬に就業会員の募集をします。会員の皆さんには詳しい募集要綱を郵送しますのでハガキで応募してください。昨年、複数の仕事に応募された会員さんもいましたができるだけ多くの会員が就業できるようにお互いに「仕事を分かち合う」心を忘れずに、複数の仕事に応募しないようお願いいたします。応募が1ヶ所に集中し、調整できないときは交代就業になることもあります。尚、特別会員の継続就業につ

ては、現在就業している地元シルバーからの連絡や指示に従ってください。

皆さんご承知のとおり、避難してから全シ協の優良表彰をはじめ、都立大、南多摩東部建設事務所、科学技術大学から感謝状をいただきました。これはいづれも会員の皆さんの「誠意」と「きれいな仕事」に対して贈られたものです。この栄誉を新年度につないで、みんな

14年度就業会員数 / 15年度予定		
事業	14年度就業会員	15年度募集予定
公立公園清掃事業 (都立大学、保健科学大学、産業技術研究所 光が丘公園、三宅高校ほか)	100人	ほぼ前年度並みの就業会員の募集を予定
特別会員(避難地区シルバーで就業)等	70人	
合計	170人	

(注) = 会員の皆さんには3月中旬、各就業場所別の就業人員など募集要綱を郵送します。

平成15年 3月10日発行

の知恵と豊かな経験を生かして「楽しい
仲間で、よい仕事」を目標に、さわやか
シルバーに育てていきましょう。

第5回 理事会開催

2月26日、シニアワーク東京の会議
室で第5回理事会が開催されました。

15年度第1回総会を控え、理事・監
事10名の出席を得て13時30分開会、
一般会計補正予算等6件の案件を原案ど
おり可決承認し16時に終了しました。

第5号議案では、この3月で理事・監
事選考委員の任期が満了となるため新委
員の選任を行い、現任者全員の再任を全
会一致で決定しました。

可決承認された議案は、下記のとおり。

記

1. 議決案件

1. 14年度一般会計収支補正予算
書(案)の承認
2. 15年度事業計画書(案)の承認
3. 15年度一般会計収支予算書(案
)の承認
4. 「職員給与規程」及び「職員の期
末手当に関する基準」の一部改正
5. 理事・監事選考委員会委員の選任
6. 新規加入会員の承認
尚、再任された理事・監事選考委
員は次の方々です。

★理事代表

宮 沢 雅 美 寺 本 達

石 井 敦 子 金 井 正 歩

★地区代表

浅 沼 安 之 栗 原 日 出 一

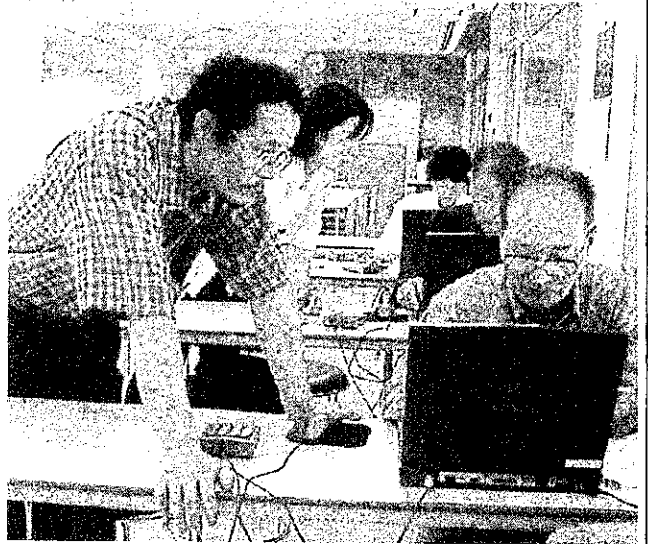
桜 田 博 實 窪 寺 昇

井 沢 龍 夫

☆任 期 = 平成15年4月1日~平成17年3月31日まで

立川支所だより

今月のパソコン教室



パソコン教室では、これまでデジカメ
画像の保存方法や修正、自分の好みに合
った画像処理などを学んできましたが、
2月のミニ新聞づくりの復習をかねて表
や地図などを組み込んだリーフレットの
作成に挑戦します。

シルバーの会員でない方、デジカメを
持っていない方でも参加できますので、
下記にお申し込みください。

記

内 容 ミニ新聞づくりその2
期 間 3月24日(月)~26日(水)
時 間 10:00~15:00
場 所 三宅村シルバー立川支所
電 話 042-548-3717
定 員 6名
締 切 り 3月20日(木)

会員の入退会

☆入会しました よろしく
菊 地 桂

平成15年1月分事業実績 (単位:円)

月	区分	受託 件数	就業延 日人員	契 約 金 額			
				配分金	材料費	事務費	計
1	公共	7	1,079	7,005,990	2,928,633	632,070	10,566,693
	民間	2	64	448,000	0	0	448,000
	計	9	1,143	7,453,990	2,928,633	632,070	11,014,693
累計	公共	72	11,425	69,307,560	8,167,848	6,172,405	83,647,813
	民間	19	635	4,237,660	0	2,430	4,240,090
	合計	91	12,060	73,545,220	8,167,848	6,174,835	87,887,903